

【意見】

先日第一子が誕生し、来年度から保育園に入園を考えています。そこで保育料などについて色々調べた結果、沼田市は他の市町村と比べて金額が高いように感じました。県内では渋川市、中之条町など保育料無償化が進んでいて、同等の金額の高崎市ではコロナ関連もあると思いますが、子育て支援として商品券などの配布がありました。沼田市に関してはコロナ関連の生活支援を始め、保育料に対して子供達への還元が少なく感じてしまいました。そこで、質問です。沼田市の保育料はどのような事に使われているのか。少子化対策として全国各地様々な政策が行われている中で、沼田市はこの先どの様な政策を考えているのか。

こちらの件は保育料の事とは少し異なりますが、先ほど話に出しましたが、コロナ関連の生活支援などが圧倒的に少なかったと感じています。てんぐーなどありますが、正直若い世代は中々使う機会も少ないと思っています。高崎、渋川、中之条、東吾妻町その他の市町村でも地元で使える商品券などの配布がありました。沼田市は何故そういった支援がなかったのか。もちろん色々な理由がある事はわかっていますが、市民として子育てをしていく一児の父親として、少し子供の将来が不安に感じてしまいました。この場を借りて質問させていただきますので、是非回答のほどよろしくお願いいたします。

男性20代：市内在住

【回答】

ご意見をいただきました保育料につきましては、お子様の通われる保育園の人件費と運営費に充てられております。また、子育て施策につきましては、第3子からの保育料無償化、令和6年4月より小中学校の学校給食費完全無償化等を実施し、子育て世帯の全体的な負担軽減に努めております。

令和5年度には原油価格や物価の高騰などに対する支援として、3期6ヶ月分の水道基本料金を免除し、生活者等への負担軽減を図ってまいりました。

また、ご指摘のコロナ禍における電子地域通貨事業（てんぐー）につきましては、地域内限定の電子通貨を発行することにより、市内経済の活性化と事業者支援を目的に実施したものであり、その他に、子育て世代に対する支援事業につきましては、物価高騰の影響を受けている子育て家庭に対する出産・子育て応援交付金の支給や、子育て世帯への臨時特別給付事業、保育園等副食費の助成事業等を実施いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した実施事業につきましては、下記の市ホームページに掲載しておりますので、参考にご覧いただければと存じます。

○市ホームページURL：

<https://www.city.numata.gunma.jp/shisei/keikaku/zaisei/1009965.html>

※市ホームページ内のページ番号検索で、1009965の番号を入力していただいても、ご覧いただけます。

今後も、引き続き市民の皆様のご意見を踏まえながら、安心して子育てができる環境作りに努めてまいりますので、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

担当：総務部秘書課